

晩秋の日野に強力なイベントが集結。

目を閉じれば懐かしい田園風景が浮かび上がる
(米子田植唄保存会)

とりアート 2016

「もりアート、まちアート、うみアート、ここでアート!」のコンセプトのもと、昨年に続き日野町で開催。会場となった町文化センターや屋外ステージで、10組の出演者によるさまざまなパフォーマンスが披露されました。



力強い歌声で魅了 (ゴスペルホープ)



手話を交え会場全体で合唱 (米子東高等学校合唱部)

伝統あるものや人と触れ合い、町民みんなが元気になって将来のまちづくりにつなげようと、11月19日と20日の2日間、役場前駐車場などを会場に、第39回生きいき「ひの、ふれあいまつり(同実行委員会主催)」が開かれました。

さらに昨年に引き続き、第14回鳥取県総合芸術文化祭りとりアート2016西部地区イベント(同実行委員会主催)が19日と20日に、第13回日野郡新そばまつり(同実行委員会主催)が20日にそれぞれ同時開催され、多くの来場者でにぎわいました。

オープニングを飾ったベリーダンス・リサーラの妖艶な舞に会場は釘付け

ふれあいまつり

2日間を通して、農産物、加工品の販売やフリーマーケットなどの即売コーナー、文化団体などの作品展示が行われたほか、20日には、芸能発表と抽選会があり、多くの来場者でにぎわいました。

食欲そそる焼きアユの香ばしい香り



力作の数々に大人も子どもも夢中

新そばまつり

日野郡内で今年収穫された新そば粉を使い、日野郡内の有名店が自慢のそばをふるまいました。当日は、町内外からそばの食べ比べをしようとする多くの人が詰めかけ、長蛇の列ができました。また、会場ではざるそば早食いやそば打ち体験なども行われ、多くの人が新そばの味を楽しみました。



名人が教えるおいしいそばの打ち方



中山法貴地域おこし協力隊員とお笑い芸人・スギタヒロシが、日野町非公認PRキャラクター「エイリアンひの」と繰り広げる爆笑お笑いショー



どれで遊んでも思わず笑顔♪
とっでも楽しい木のおもちゃ



根雨小学校金管バンドは息の合った演奏を披露



消防車の展示が子どもに大人気。「将来はぜひ、日野町消防団に!」



「じゃぶ汁+そば=じゃぶそば」。
日野高生も元気に接客!



白熱の早食い大会



「おまちどおさま〜」

